

昭和63年度 和歌山県文化奨励賞

ふく い しょうじろう
福 井 正二郎

住 所：和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

出 身 地：東京都

生 年：大正元年

◎業績及び経歴

氏は、昭和11年帝国美術学校(現在、武蔵野美術大学)本科西洋画科卒業後、昭和13年日高郡塩屋尋常小学校をはじめとして、昭和56年県立新宮高校を退職するまで、県内の小、中、高校において、美術教師として教鞭をとっていた。

その間、魚の生態に興味をもたれ、昭和35年頃より、本県に棲む魚類の採取、研究を始められた。そして、その絵画の技術を生かして作った紀州魚類の標本図は現在1,000種を越えるに至り、県立自然博物館等で広く活用されている。また、その基になった標本は、東京大学の総合資料館において、「福井コレクション」として保管活用されている。

氏は、日本魚類学会の会員でもあり、「ボウズハゼの習性」等を学会に発表、魚類学者の間で高い評価を受けるとともに、ハゼの研究では、権威者である皇太子殿下とも資料、標本を交換されている。

また、著書『紀州魚歳時記』をはじめテレビ新聞等においても広く紹介するなど一貫して、本県産の魚類を調査、研究、広く知らしめた功績は大きく、地道な魚類研究活動を通して、本県の文化の向上に寄与した。